

四呂 4
1761

江戸砂子温故名跡誌卷之四 泊原纂輯



豊嶋郡岐田領

① 牛込

小日向
高田

関口
市谷

雑司谷
大久保

② 四谷

内藤宿
鮫橋

大木戸
楠檀谷

中野

高井土

同郡麻布領

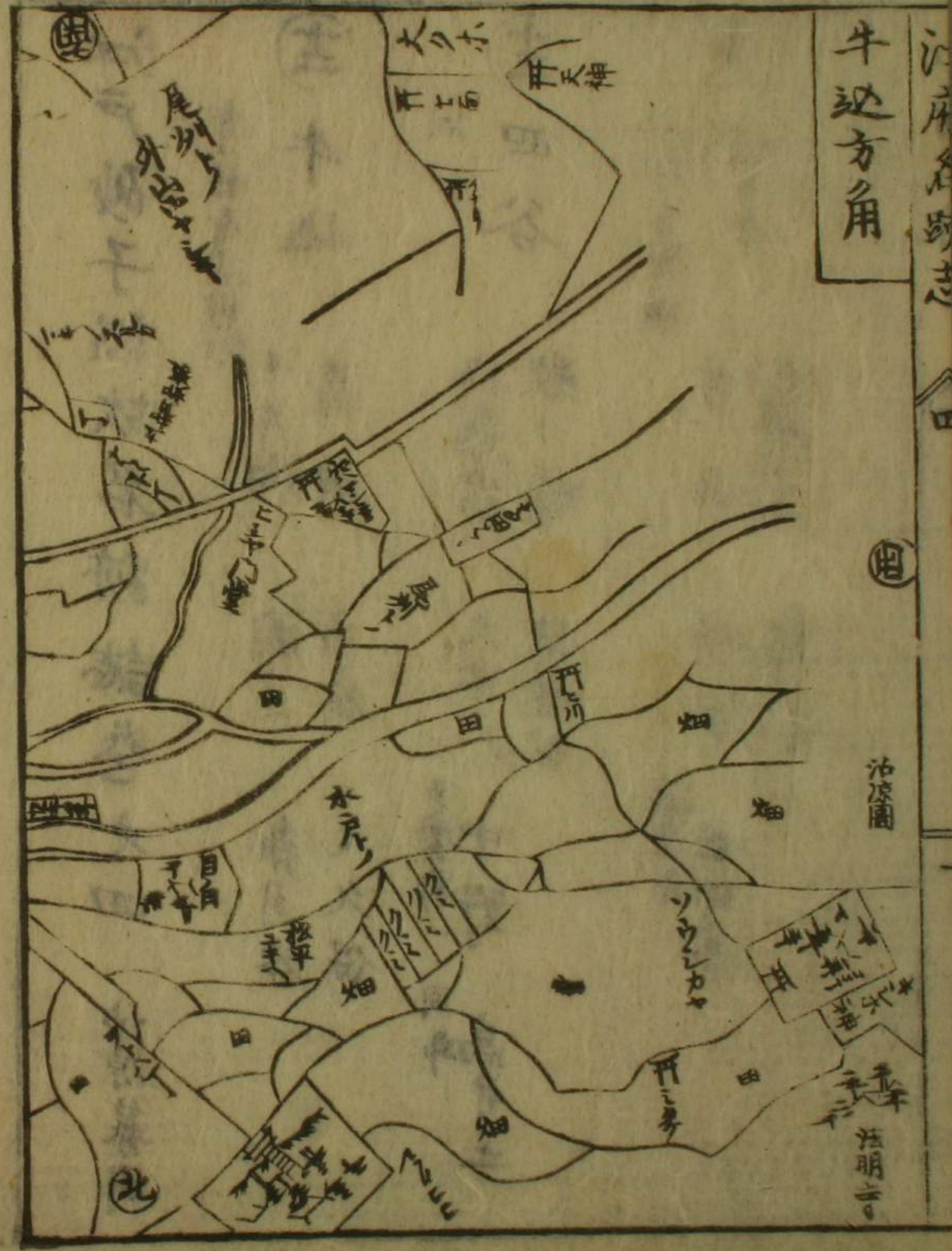
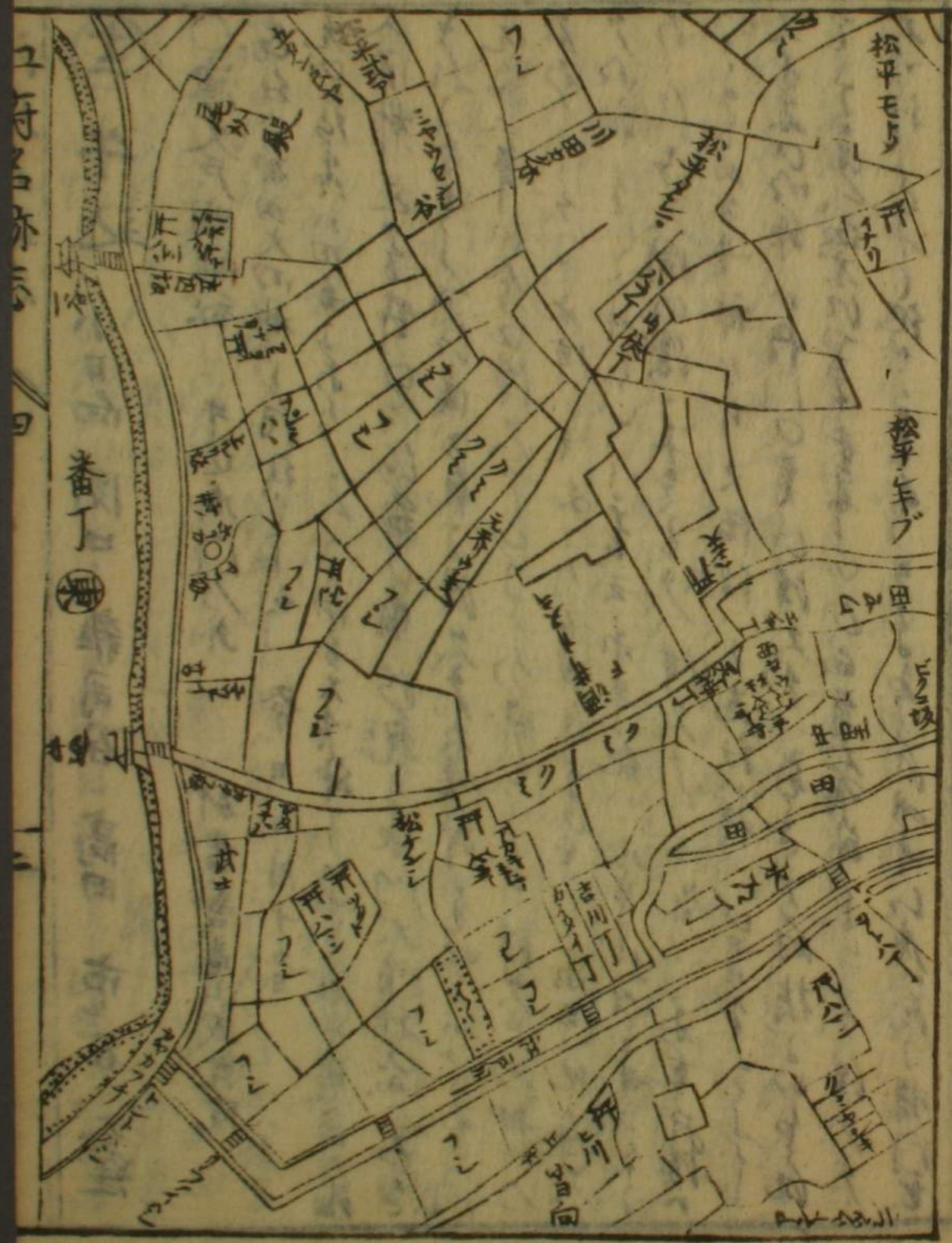
③ 赤坂

青山
長者丸

渋谷
鶴ヶ谷

世田谷

江戸市志



牛込方角

江戸府名所志



治政園

法明寺

牛込 小日向 関口 雜司谷 高田 市ヶ谷 大窪

○津又戸明神社 牛込御門乃外 別當善庵山成院

此社の神田大の神と云 祭日九月十五日
元の落居の田子ありて、田子大有神と云、永享四年田子落
入圓部三才野の河内縣の城に乾、水川大噴神の年ありて
され、かきく人の城の乾、津久大噴神を云、かきく人
元和二年に今の津久大噴神ありて、かきく人、津久の神、
名ありて云、水亨、元和、而、永享の事、水亨、此、津久
大噴神を云、かきく人、永享、此、津久大噴神を云、
あ、此、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
又、永享の噴神、此、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
土、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、

す、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
又、永享の噴神、此、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
土、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
す、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
又、永享の噴神、此、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
土、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、

○牛込八幡宮 別當松雲山金澤寺

此社の神、牛込八幡宮の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
又、永享の噴神、此、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
い、かきく人、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、
土、津久大噴神の事、かきく人、津久大噴神を云、

神しんの湖うみ中なかつ神かみききしをわくく二ふた葉はの神かみ蛇へび蟠ま成なり赤あか城しろの

神しんはは蟠ま蛇へびとと息いきををあありりおおたたくくありり蟠ま蛇へびのの神かみ役やくりり个こ

非ひ神かみ子こありりのの祭まつりれれ九こ月げつ十じゅう九く日にち隔へき年ねんしし 当あた社しゃ四よ世せいハ

牛うし込こ門かど内うち牛うし込こ家かのの中なかつ今いま昔むかしのの方かた古ふる本もとのの核かくありり高たか坊ぼく

神かみありりとと云いふふ社しゃ牛うし込こ行ぎやう元げん寺じのの法ほふ守しゆとと云いふふ元げん寺じのの熱ねつ心しんいいきき

○牛うし込こ氏しのの墓ぼ 宗そう泰たい寺じににありり

其その墓ぼ碣たつ子こ大だい胡こ太たい郎らう室むろ俊しゆんのの高たか主ぬし内うち少せう輔ほ室むろ行ぎやう衣い列れつ牛うし込こ

乃すなは縣ぐん子こ信のぶ一いつ其その後のち勝かつ行ぎやうのの代しろ小せう系けい氏し康かうにに属ぞくししとと云いふふ

○氷こほり川がは社しゃ 上かみありり ○衣い侍じ 氷こほり川がはのの邊へににありりつつのの宗そう

○金かね剛ごう寺じ坂さか 光あきりりししとと云いふふ傳でんありり ○そそのの寺じ 板いた町ちやう牛うし込このの寺じ

○新あらた坂さか 又また如ごと手て人ひと坂さかとと云いふふ小せう日にち向むか上かみ水みづのの寺じ

○服はき部ぶ坂さか 新あらた坂さかのの邊へにに 惠ゑ中ちゆう和わ尚じやう旧きゆう江え西せい禅ぜん菴あんとと云いふふ

○江え戸こ川がは 上かみ水みづのの吐つききしし圓えん口くちのの大だい改かい堰ゐんとと云いふふつつのの寺じ

○目め白しろ不ふ勤きん堂だう 東とう豊ゆづ山さん新しん長ちやう谷や寺じ 真ま言ごん 関せき口くち

本もと堂だうのの以も不ふ勤きん堂だう大だい師しのの 湯ゆありりとと云いふふ大だい師し師し刻こく

二ふた廻まわりりのの邊へ一いつ廻まわりりとと云いふふ以も不ふ勤きん堂だうのの邊へ一いつ廻まわりりとと云いふふ

中なかつ興きやう開かい基き長ちやう谷やのの寺じ小せう池ち坊ぼく表あへ年ねん信のぶ正せい

元げん和わ四し年ねん一いつ再また興きしし

袈け裟さ掛かのの様さま 本もと堂だうのの前まへありり

縁えん記き曰いふふ高たか寺じのの野の別べつ足そく利り何なに某たがのの好このありりとと云いふふ事ことありり

衣い列れつをを信のぶ部ぶ 関せき口くちのの住すま人ひと板いた村むら氏しのの墓ぼありり

いいききのの邊へ信のぶ部ぶをを信のぶ部ぶとと云いふふ時とき一いつとと云いふふ信のぶ部ぶをを信のぶ部ぶとと云いふふ

若わか依い一いつ地ちをを考かう明めい一いつ若わか依いをを考かう明めいとと云いふふ若わか依いをを考かう明めいとと云いふふ

定じやう東とうのの原はら御ご看かん持ぢのの時とき本もと寺じとと云いふふ時とき一いつとと云いふふ本もと寺じとと云いふふ

○不ふ勤きん坂さか 本もと相さう田でんよりより云いふふ也なり

○掃はき部ぶ坂さか 本もと相さう田でんよりより云いふふ也なり

○八幡宮 竜泉山洞雲寺指 美登流 園。
上宮と云園の傍 用山獨港禪所 中興石平和尚開基

○椿六幡宮 右門寺指 竜隠菴あり

下宮と云系れ上、下隔年あり 嵩下椿の傍しむあり
水神社 日勝門にあり 永用開く園口水門のち後神し

○胸突坂 松ののき ○嵐坂 多田町七丁ノ内

○大洗堰 目白のうへに水のた懸し

○上水 水原に松原池あり なるなる清雲にし早懸に河

船水あり 玉川に河懸のさけり多敷郡のさけりて大所し
多敷郡の川に玉川に河懸のさけりなるなる天の海に玉川に

日中六玉川の川に玉川に河懸のさけりなるなる玉川に玉川の川に
玉川に玉川の川に玉川に河懸のさけりなるなる玉川に玉川の川に

○禪宗 佛 園 才 也 小日向

○蒼龍山松源寺 妙心寺末 江戸山々寺の向 一代紫衣 牛也

用山靈鑑香照禪所 名中丘字蓬山信 長刀通之 煥經七世名惟庸高
信に指す 寺名 乃大所況 山の寺に示 二番目

○蔭涼山漸松寺 日末 寺領三百五石 後所

用山永南和尚 開基祖心禪尼 此門兼之文縁の末大友氏住持の地
御佛殿 井高 引高 寺名 乃大所況 山の寺に示 二番目

△風風池 乃長谷の首あり 用山塔 難春庵

△靈建泉 乃長谷の首あり 用山塔 難春庵

○龍峰山保善寺 甲州 東松茂末 寺 乃大所況 山の寺に示 二番目

○臨川山宗徳寺 漸松寺末 中里

○正覺山月桂寺 強会園是寺未 寺傾石 川田之産

高寺ハ元一ヶ谷にありて平為寺と云し之は連川の河にあり
唯屬乙未喜連川は端々月桂流禪尼ハ十八里本に於て
高寺に華一ルれり月桂寺と云 塔石 松竹菴 臥竜菴

○天台宗 佛閣

○觀音堂 俗襟興心觀音 牛頭山千手流竹元寺 上野未 寺傾石 香町

開山慈覺大師 中より子觀音 慈心作深淵云持佛
注名大寺はく法門中因河川月桂 飯平川の因りて方た南天
並本をし俗に南天と云ふ云々し 高嶺有林ハ高寺の流をり
その源を細の大殺名今にありれり 行を流流記ありと云

大水の云れり堂法流流一ありと云

○簡麻堂 高嶺之難善院平川寺 上野未 寺傾石

○高嶺山之光院 上野未 寺傾石 寺傾石

○聖徳太子寺 上野未 寺傾石

○佛乘山宝蔭院 上野未 院丁 東光山泉蔭寺 上野未 院丁

○東曜山宝蔭院 上野未 院丁 松雲山宝蔭寺 上野未 院丁

○善徳山之威徳院 上野未 院丁 瑞有山長壽院 行多末 院丁

○宝光之正智院 上野未 小日向

○浄土宗 佛閣

○樹王山光徳寺 智来 院丁 光明之大徳寺 知恩末 院丁

○不退山正定院 上野未 院丁 一心山専念寺 信通末 院丁

○金剛山大信寺 上野未 院丁 護念之宗寺 知恩末 院丁

○栄松之法正寺 上野未 院丁 光明之智徳寺 知恩末 院丁

○中野之光明寺 上野未 小日向 密教山還園寺 上野未 院丁

○宝国山大泉寺 上野未 院丁 法樹之慈園寺 上野未 院丁

○玉樹山良念寺 上野未 院丁

○法華宗 佛閣

- 中光の清浄寺 中光 永敷 ○長久山妙泉寺 永敷 吉田
- 松葉の天法寺 小漢末 上向 ○長久山岩立寺 平賀末 永田
- 常泉寺 月未 永田 ○正宗の併成寺 中末 永田
- 一樹の宗柏寺 頂々末 上向 ○妙法の香徳寺 月未 中末
- 正定の幸園寺 小漢末 上向 ○常春の清輪寺 比末 上向
- 日縁の長光寺 月未 小日向 ○如意の亮徳寺 身延末 上向
- 万年山清輪寺 萬年山末 上向 ○長久の青松寺 三原末 上向
- 女山山國通寺 小漢末 上向 ○正徳山妙照寺 妙徳末 上向
- 福夜の蓮光寺 妙徳末 上向 ○長徳正法寺 月未 上向
- 妙法山蓮光寺 妙徳末 上向 ○上河の久徳寺 上向末 上向
- 泉光の蓮花寺 泉光末 上向 ○寺願三光 園口

○直言 宗

○神歌山護国寺

寺願三光

中光馬殿石如表輪觀音唐侍 元禄年中中堂は建たれり本
 の中堂の棟其基の石を遺し今もあり此世の新築堂より建たれり
 寺願三光の寺なり

○鏡波の護持院 寺願三光 根元は鏡波の舟大屋の末寺なり
 如く知是院は之岩井所にあり元禄年中中堂は建たれり、神田の
 外へへりり寺保のけし西回縁は尚不修なり

○貞命の常徳寺 上向末 上向 ○有王山西照院 宝徳末 上向

○編布山茶玉院 川末 上向 ○清水の古教寺 月未 上向

○三明の千手院 妙徳末 上向 ○蓮花山金衆院 月未 上向

○一白の宗 上向

○信久寺 東 上向 ○太子山竜善寺 東 上向

○分庵の芳敷寺 日 山伏丁 ○高源山本法寺 日 小日向

○孫名寺 西 上向

○雜司谷

○威光の法明寺 法花宗 寺領十石

日原上人用基し 高寺根元天をまつて同の基定た所なり

とて日原上人強列 宗中よりあるて日蓮上人より多き子

とあり 中へ寺と稱し 法華をひらけし

△日蓮上人の法影 種食式あり 法信部乃也

○鬼子母神 塔の東陽坊の物

天正六年 日照坊より 法明寺にありしを 高寺より

○六老僧の寺 東陽坊 法明寺世中

六老僧の法影あり 各日蓮上人の法影なり

辨阿闍梨 王良 日智

白蓮阿闍梨 眞士 日興

大國阿闍梨 池上 日朝

伊豫阿闍梨 眞向 日原

民部阿闍梨 茂系 日向

中老十八人

日源 日家 日傳 日法 大目 日位

日常 日保 日秀 日祐 日得 日弁

日合 日礼 日賢 日忍 日川 日高

六老僧 中老僧 日蓮上人の法影なり

○九老僧寺 日新 本能寺

日朗 二人の法影なり

日印 日輪 日善 日傳 日範 日證

日像 日行 朗慶

○禱麻 高王坊 法有寺物 ありしものなり

○法巻門 法明寺前の細あがれをえ

○星流清水 傳心寺と 報恩寺の四の中一ありあり

○星流白鬼子母世次の本あり 法巻門の法影なり

高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し
○三徳神木 高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し

○戸塚 高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し

○高田馬場 高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し

○比佐尾坂 高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し

○高田 高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し

○穴八幡社 高田戸塚村 別當 光松山放生寺

ひししとありて久しとぬれし伝ありまじりて久し
の事なり 穴八幡社 高田戸塚村 別當 光松山放生寺
高田の事し古来子云昆汝川の事なるを
しるべきを記す古き傳あり白狐まじりて久し
とありて久しとぬれし伝ありまじりて久し

△茶本箱荷社 境内島井のまきこひり 芳山の世まじ
 信託日高の白狐ありあやうく茶の本もて目くらまらあり
 て茶をいひこし此神の氏子正月三日の内今茶をのり
 又月をうらなひの十七日二十七日茶をうらうく
 ずる濟ありとらふ齋信今まのまじり

○老敬福荷社 別當清雲山無本寺教藏院直言 田町上

元市谷八幡川あのかしよりく茶本箱荷社をすんまうく
 八幡列島 本寺有経籍人うらま山宝性院 無量壽菩薩
 満ちぬしお勤むむた義し 当社をあら福荷社

慶長年中進江屋助もまきの娘三平三浦にて縁組かたを
 終り厚くお勤むむた義し 中田氏へ嫁し今も縁組あり

○左内坂 一谷河門乃びり小の坂を云
 高木のまきこひり徳田氏ありまきこひりまきこひり

○甲良屋安 左内坂の由云 ○頼治坂 本村まきこひり

○津泉寺谷 左内坂を云り又ト谷し津泉ありまきこひり

ひりまきこひりまきこひりまきこひりまきこひりまきこひり

まきこひりまきこひりまきこひりまきこひりまきこひり

尾湯半まきこひりまきこひりまきこひりまきこひり

○小栗原 本村松平松津もまきこひりまきこひり

○合羽坂 日下松平松津もまきこひりまきこひり

○念佛坂 日下谷所をのりまきこひりまきこひり

○まきこひり谷 同前日下町 同前日下町 同前日下町

○まきこひり坂 日下まきこひりまきこひりまきこひり

○太神宮 本伏所法花勸法社し

○西根来 ○東根来 日下まきこひりまきこひり

○七面社 法花 春時山法善寺 世来 大り亦

○大久保天満宮 聖護院末 別當梅松山寺大聖院 今亦

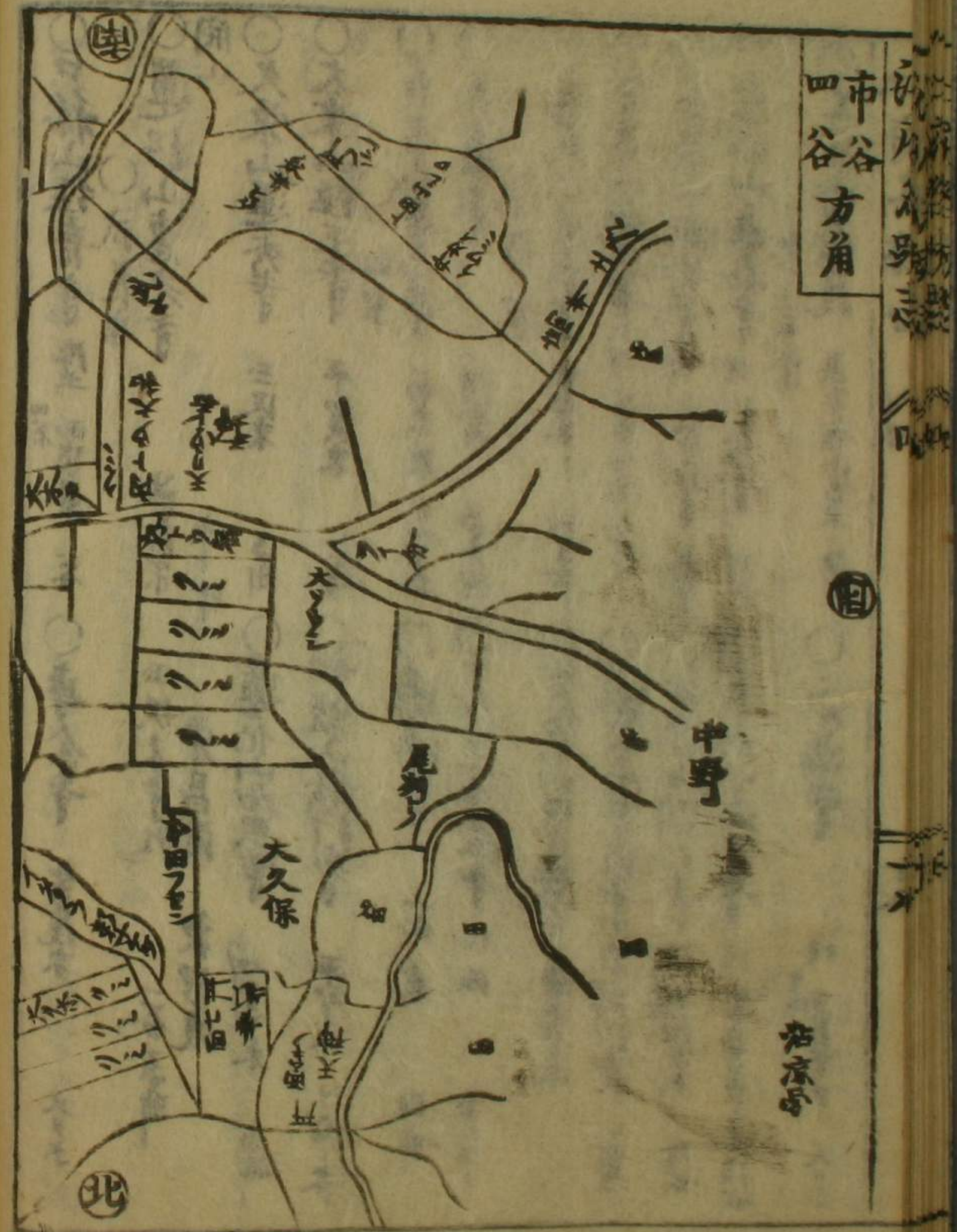
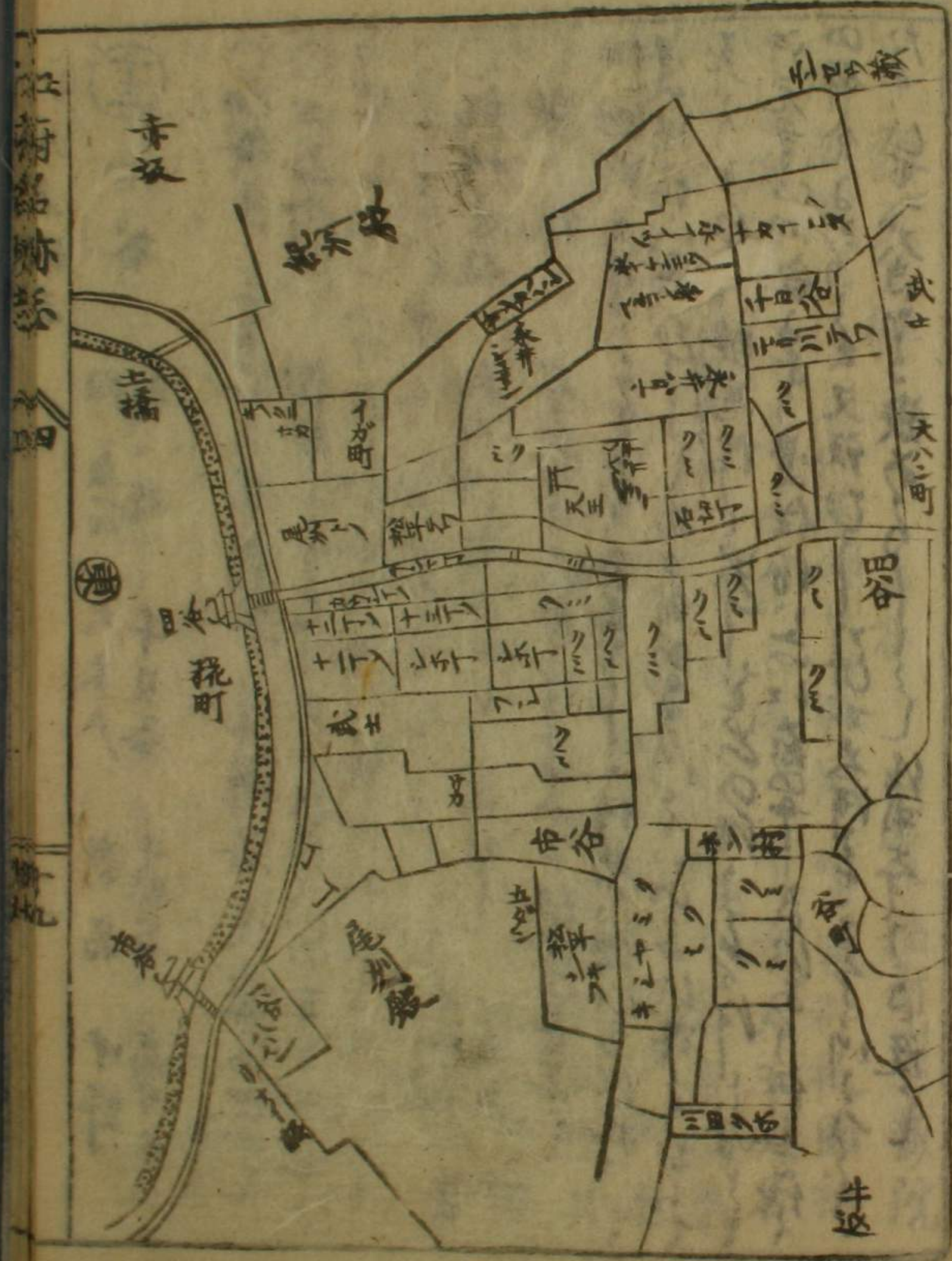
北野神社し神祇、東平の神形、云一名勢、天神と奉祀、三山
又西向、天神と云、是は社檀西向、火の宿、信し、法丸、人、今、六代
後醍醐帝、安貞、手中、唯、惠上人、静、池の地、し、大、信、於、法、信、中、真、
あり、あ、大、尊、院、ハ、香、道、院、法、の、地、未、と、天、名、宗、正、大、を、建、り、
門、の、江、戸、新、し、前、列、あり、松、緑、山、梅、香、院、と、い、ひ、し、
大、久、保、の、法、を、祭、れ、九、月、廿、五、日、陽、年、七、面、の、社、と、い、ひ、
内、境、内、の、事、し、法、美、の、願、遊、観、と、い、ひ、
○大窪稲荷社 別當二尊院 七面東所、
并才天と相合し

○諸宗佛園 市谷 大窪

○七宝山樂王寺 其、祭、末、寺、从、百、石 市谷、
高、寺、ハ、元、真、言、宗、し、退、持、し、
流、凌、雲、和、尚、中、興、以、世、教、ハ、
寺、从、河、横、西、江、も、あ、り、と、中、江、
今、ハ、其、の、格、式、と、い、ひ、

○清光山林水鏡安報寺 淨土 和恩寺 谷町 安養寺

開、心、蓮、社、淨、土、八、員、云 天正二甲戌紀立 伏在、天、蓮、社、
昔、此、ハ、一、石、願、石、と、い、ひ、
此、の、石、ハ、大、改、も、つ、り、
小、窟、あり、深、養、を、
深、養、の、云、沙、也、
宿、ハ、入、地、此、地、
即、入、國、公、使、
此、馬、二、丙、申 尾、列、の、
深、津、の、地、
△稲荷社 地、心、あり、
百、石、元、年、
編、し、
白、狐、
白、狐、



十三 四谷 四谷宿 大木戸 新名 中野 千日谷 千駄谷 高井土

○四谷五ノ千日谷。若荷谷。千駄谷。大上谷の四谷也

○四谷所門 惣所十丁目ありは所門の所と四谷と

○紀伊守坂 紀伊守館の所の坂也 四谷宿 七町

○敷。摺 右の坂下大滝と云ふ今いふ事不悉也

牛頭天王寺の事あり強馬なり。行儀の備はるは坊にて
曼陀羅のありしあり付ありての事は坊ありあり
死よりこれより馳馬格と云ふと云ふの事ありは
河元寺の四角あり曼陀羅のありありはありは
の碑ありありと云ふ又流じしは河元寺と云ふ
たしはありありと云ふ

○牛頭天王社 四谷 別當 箱荷山宝藏院

山列祇園神社 日本紀纂頭目山城国愛宕郡祇園社

則進雄神之神化迹 凡有三座 一牛頭天王又名

曰武峇天神 諸社根元記 中間、牛頭天王素戔嗚尊

垂跡東、間八王子五男三女西、間箱田壺本御前

祇園縁記云天生北有国名九相其国有園名吉祥其

園中有城城中有王名牛頭天王又名武峇天神要

婆娑竭羅龍王女為后生八王子其眷屬八万四千

六百五十四神 神社考 素戔嗚尊ハ牛頭天王又武峇天
神ト云フ天竺ハ金毘羅神又摩訶訶羅神ト云フ
△御旅所 四谷石切町 毎年六月はあはる御旅所
六月十八日より廿一日まで遷すあり 祭礼六月七日 隔年
△箱荷社 坊内ありは年中ありの神ありは遷すあり其人
くらしは御也

○忍系 天王の千石の石をびりし忍の石なりきありしを

○千日谷 おし系のある方 ○又掃坂 おし系のある

○信濃系 千日谷の系は井伝流を伝へていりしは井伝系

○大木戸 大木戸の系は高井土中流なり

○所言系 松尾の系は内河にありしは内河系なり

○千駄谷 びりし一石の系をびりし一日に千石の量なり

○八幡宮 千石の系は別當高雲山流なり

○本世石流 千石の系は本世石流なり

○神後所朱印 八石の系は神後所朱印なり

○流掛ね 千石の系は流掛ねなり

○高井土中流 高井土中流なり

○千石の系は千石の系なり

○氏子より 氏子よりなり

○観音堂 日下 観谷山聖輪寺 真言 和列 長谷末

○岡山行基菩薩 本寺の如來佛の自心

○眼玉の敷き 眼玉の敷きなり

○遊女の松 日下 高羅山栄光寺 天台 東嶺山末

○如來の系 如來の系なり

○乃時り鷹の系 乃時り鷹の系なり

○上はく流の系 上はく流の系なり

○柳の系 柳の系なり

○この系 此の系なり

○中世の系 中世の系なり

○今世の系 今世の系なり

○此の系 此の系なり

河津の河はせびりる路に日連とあり元治年中天の川に
台宗開基自院院の大僧が雄師とあり 伏任賢道
○吉妻堤 河津に海防の所余の舎ありてくらしめる
○元橋硝子巻 河津 今に橋を元の西にあり

○太神宮 日本 神主小川赤宮

一カ所のろとありて神をそを相おらしめてはるま
きり元治の富士乃根とありてしほの神靈に
に太神宮のありてありては情の地内に祠を建てて
○旗ヶ谷 元治の富士乃根のありては情の地内に祠を建てて
○高井土 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて

○新井土 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○半江野 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○速分 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて

○東の井 速分の東に平松村ありては情の地内に祠を建てて
えんかの須少将の命とれよとありては情の地内に祠を建てて

○大田川 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○大上谷 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○牛窪 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて

○船橋 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○大島根 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○大島根 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて

○大島根 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○大島根 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて
○大島根 八王子海防の所ありては情の地内に祠を建てて

乃不の陰なりけりてあきしきりせれこれに唯あつこふ
本堂のうらり雨水の井をゆるり常を螺の井とくもを
とらり日蓮宗のて元日須上人の因基中唯山自院
西なり故ありて百治のころ大台宗にあつたなり

○朝日薬師 光明山真福寺 上野末 小寺

○妙法延秀院 上野末 小寺 ○常通山安善寺 自院末 小寺

○馬玉山安善寺 日 小寺 ○地福院 自院末 日

○禪宗佛閣

○笹寺 四谷山長善寺 本列法名末 四谷

志寺を笹寺といひ寛永の頃沙摩野所よりを所より
この頃の寺といひり長善寺といふ庵室といひ
いふ小笹寺といふといふ毎寺といふ下り
なればいふといふといふといふ

○雄峰山全勝寺 常泉寺末 小寺 ○川雲山竜昌寺 青松末 四谷

○泰為山全長寺 全勝末 小寺 ○宝林山類小寺 竜昌末 小寺

○全徳寺 日末 日 ○情亀山永心寺 日末 小寺

○似王山竜泉寺 日末 小寺 ○梅亀山陽光寺 小野末 小寺

○法輪山勝興寺 東作院末 日 ○宝巖山龍谷寺 小野末 日

寺中清岩院 谷田院 ○瑞溪山祥山寺 大陸末 小寺

○雲龍山松茂寺 坊末 日 ○久羽山登昌寺 小野末 小寺

○日照山宗福寺 勝興末 日 ○放光山竜潭寺 芝末 小寺

○大覚山秀應寺 曹磔流 山列浄住寺末 小寺

同山鉄牛禪所 中真別峰和尚

○護本山天龍寺 寂庵寺中 大徳末 同の齋屋和尚 速分

○一里塚 大臺子といふのひを大塚 三井寺といふに

○子安備所 列為三史院益寺

○淨土宗佛閣

○専称山西念寺

西福寺末
寺中 長宗院 信寺院

○永固山一行院

淨寺末

○栄孤山香蓮寺

末寺末

○白岩山宗深寺

知見末

○涼雲山西蓮寺

増上末

○増光山淨蓮寺

日末

○明方山正寺

日末

○深谷山長安寺

日末

○十初山成光寺

日末

○霞関山大宗寺

増上末

○真言宗佛閣

△六地藏

二番目

妙門正元坊建立

○沙千觀音

錦敬山海繁寺真成院

空仙寺末

○開山清心法印

此寺より越後守村と義法の子傳たり一尺二寸の石あり

左條の町、觀音しげの湖、
義法寺源村と多部入江道、
大坂沙陣と立所のくわい、
師よりいづる浪人ありし、
そのころいづる浪人ありし、
そのころいづる浪人ありし、

○十股山毛深院

護持院末

○金剛山顯性寺

室原寺末

○雲竜山文殊院

日

○東向山蓮宗院

根生院末

○阿詳山東福院

日

○法花宗佛閣

○效典山戒行寺

身延末

○開山

寺中

差院

本寺

十

海神坊

△此石の飯を

△此石の飯を

△此石の飯を

- 長明之法善寺 小湊末 〰〰〰 ○法真山理性寺 大木戸
- 天月山延壽寺 日下 ○妙福寺 四谷
- 高尾山日宗寺 日下 ○稻荷山妙行寺 身延末 天王下
- 宝勝寺通壽寺 日下 ○如性山正光寺 日下
- 平島の法性寺 本寺末 日下 ○長岡山栄林寺 日下
- 寄量宗派寺 日下 ○正妙之法恩寺 本寺末 日下
- 洞山日賢上人 日下 ○微妙の真性寺 池上末 今井

○一向宗 佛閣

- 法雲寺 東 ○西應寺 東
- 真英寺 日下 ○智原寺 日下
- 正應寺 日下 ○源慶寺 日下
- 吹正寺 西 本寺末

十四 赤坂

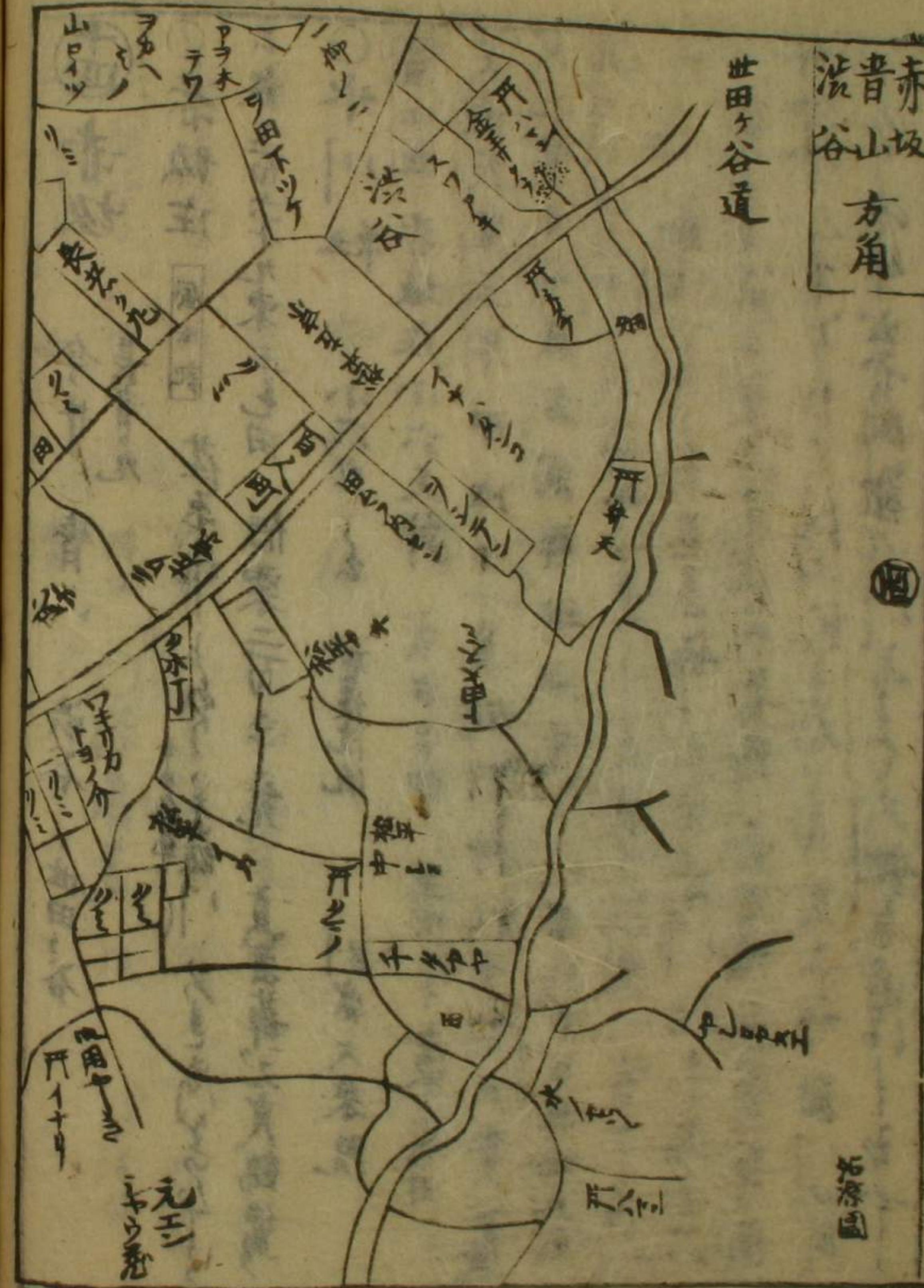
今井 青山 渋谷 世田ヶ谷
長者丸

○赤坂庄 風土記 在赤坂一とあり。赤坂川、その名をとりて、
云穀三百九束三毛田 假粟二百二十元 貞妻薙、又貞鶴、
氷川、
別當大衆院

○氷川社 風土記 赤坂庄小六天神 戎古呂故 圭田三十九束三毛田
天武天皇三年甲戌十一月始行神祀有神戸巫戸妻奈
大己貴与少彦名園韓神也号小六者以古呂故岡名也
氷川、
別當大衆院

一宮し孝昭天皇三年戊辰冬新素戔嗚大己貴寄稻
田比咩之方なりと風土記云々なり是之社、
あり汝神出雲國敷乃川とて大池を退治し、
一宮し孝昭天皇三年戊辰冬新素戔嗚大己貴寄稻
田比咩之方なりと風土記云々なり是之社、
あり汝神出雲國敷乃川とて大池を退治し、

江戸府志



江戸府志

赤坂
音谷
方角

世田ヶ谷道

西

○権太京 びしー 柱を丸馬園行とて人住居の地と云

○青山 青山大橋免取山中とありびしーの向より東の原を

○勢の井 大井中との内ありけりお水なりし空敷は所

○掃除坂 大井中とありし今にわたりけり云

○花籠神社 江戸中とありし所なり

○鐘塚 大井中の東にありびしーの向より東の原を

○海嶽社 百人所の北にありし

○熊野大権祝 系名 別當ニ光山浄性院

紀伊三山勸修 青山の徳寺なり 祭礼九月廿一日

本宮新宮那智それと熊野との中と云 祭神伊弉册尊

早玉之男 伊弉册尊生大御神時 被為而神退去矣故葬於紀伊國熊野之有馬村

○長者元 百人所の南 びしーの向より東の原を

代々稲名を金主元と云法谷の系孫なりと云その頃の領白浪村の白金の

長者といふありしと云これよりして黄金の長者といふし應安の

ころまでもいふなりしと云その系孫らうたに云そと云りて

いふはもとありしと云今にありしと云

○鉤匙橋 おりき 大井中とありし所なり

此川にびしーの龍川と云大河なり 天慶二年平将門が軍良望

を教へしと云相馬郡石井の頃に四裏を越る六孫王経基の武差

の初相馬郡あり将門が軍をこして相馬へ振くと云傳をこして

下流より相馬川と云川なり 越後前守鹿雄と云者其世王

年一毫川の園をこして旅人をとくしと云わのく経基金帯刀

の筆を園をこして 是後日の院をこしてと云りしと云

経基橋といふなりと云 康平六年三月源頼朝が

旅陣の時その心をこしてと云りしと云

らと云らと云りしと云りしと云りしと云りしと云

その并に。教王院ありしをけ教王院の供谷東福寺に事なり
かのりし今に東福寺あり又古く物次子而根長なる
子根王丸とてそのの實令のりて殿とて是等ののりて堂の流

○浄土宗佛岡

○平河山原院淨土寺

同の教養聖公大

高寺の所然則平河のあり又堂とて寺ありしなり

○一竹の寺 増上末

○川勝の清海寺 日末

○法性の善字寺 日末

○長青山宝樹寺梅窓院

同山觀智園師

本寺阿弥陀

○養平觀音 坊内

増上末

寺中 善願院

○日照の清叡寺 智恵末 一本

○信康の竜泉寺 日末 日

○寂照の高蓮寺 日末 昔山

○寂照の高蓮寺 日末 昔山

和恩末

實永年仲紀立

現任益順堂上人唯然并尚

之社若ありて殿刻とて之社也とて云

三國傳外に傳源朝臣我八幡太郎義平の

与佛なり陳上の瑞路む奇しきくい修死あり今も奇瑞

多し難産或は厄難乃其くんをりたりしとて云あり

△撰地藏 慈愛大昨の作し唯然和尙中しに感得あり

△羅漢堂 叙也十六の羅漢乃像二十ありたり

△而濟編荷 享保の何れあり和必而濟より勝山へ下の僧

後して極意精舎に瑞をたわして承くをを後せんとして

一社造とあり衆人法ををたわして承くをを後せんとして

△捨橋 才五海登人門あり苗あり捨ひてのし柳とて

今も大ありしをの勢ひをたわして承くをを後せんとして

留主に居る人へひろく人へ祀さるる 岸村涼宇

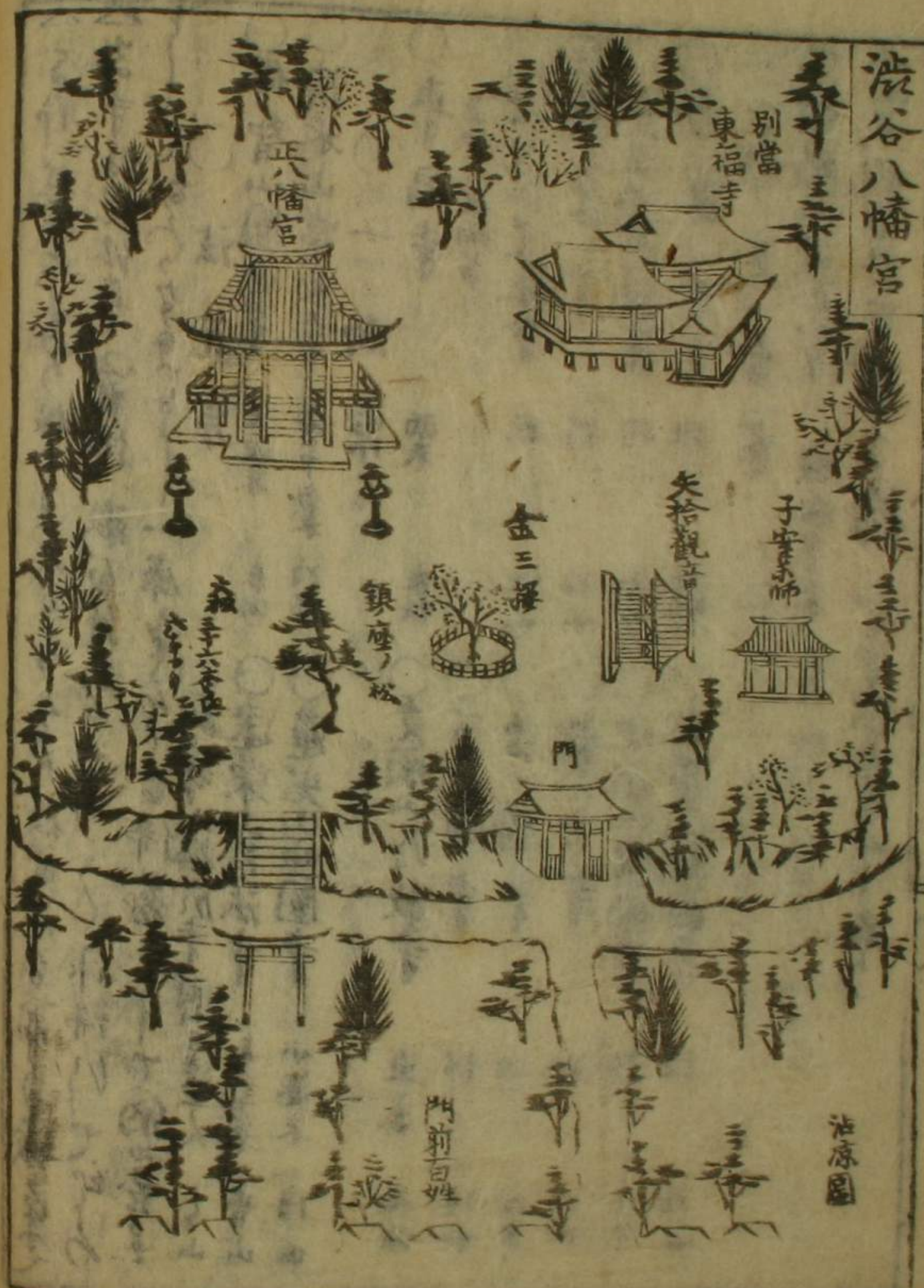
△惣門 長青山の額炎磔悦山淨昨の事し

○南命山善光寺 信列善光寺の宿寺 尼寺し 香山

本寺の祖昨中將非孫佛し中御殿の原を名とて云あり 寺後五石

高寺の谷中ひあり室承のてらありしをの谷中の地とて今も善光寺あり

渋谷八幡宮



○渋谷八幡宮

渋谷 天台 別當渋谷山東福寺

康平六年村岡五郎良文の曾孫川崎土佐守基成が八幡宮を勧進しあり瑞子平三室が金王丸にあり代々金王丸より村松をありし女渋谷を氏とせしむる大社なりし夫盛庄七郎の老士神なり謂所七郎の渋谷代木赤坂飯倉麻布一木 今井 小方の者といふ渋谷八幡宮なりといふ 今天竺の渋谷八幡宮同公園鎮僧正頼和元年宋千四百一十歳 元禄十九年宋徳文治園梨

△正八幡の神龜弘法の心 應神帝の尊孫なり

△月輪乃沖旗 神正躰といふ八幡より事ありといふ

△月旗の長元五年源頼信が棄たる退治の河原にありし八幡の旗を勧進しありし月二流の村岡氏基にありしを我義が具列 延徳の河原に二流をありし月の旗のありしをありし八幡といふ

△子安業所 行基の心 源義朝の古佛なり

△天拾觀音 唐佛 渋谷金王丸古佛なり

△金王丸乃傳 織衣二刀を帯 自作しし金王丸金剛殿又明王の

本流のくく推名を金玉と云是上下のまきし平治平二月浪谷冠云
幸夫と号と保元乱の後道世と死まふりし

○金玉橋 境内にありむし一のふり憂志橋と云

久青羊中源義朝後余忠各の館にらむし一憂志橋を金玉

丸に於て世浪谷にむしむし八幡少の丸のゆりゆり

の月のころ黄令長者といひあり浪谷氏の末葉と疫病の跡あり

神託ありて其本の奇特と病跡をのり今伝えてありし

〔紫一〕 紀列養殊原橋浪谷のまきを河をまきまき

てゆりゆりむしむし浪谷のまきむしむし

むしむし浪谷のまきむしむし金玉の子孫むしむし

して今その元来のまきむしむしむしむしむし

まきむしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

△鎮座乃松 境内あり 大永元年三月十二日小幡氏繼と

る輪の系しむしむし浪谷の後陣大なる命を流し小幡を

浪谷(せえ)入政たむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

むしむしむしむしむしむしむしむしむし

○其露水 ありきき 天慶二年六月孫王孫基あふに跡を

○玉池 ありきき 天文のころ早懸して河川流をとり

○井瀬 ありきき 玉糺の井に施す是ハ八幡宮の神

○休候の塚 石去我昔塚 百人所の色田村原塚

○右通 鎌倉の代の海乃しそこの塚の下のこの

○神仙水 八幡の池 びじ 雲跡人け谷にあり不光長生の

○朝香滝 沢谷 びじ 川に流谷を流しそ長者あり

○鮎山 大のび 法道社の神の

○道玄坂 三つより世田谷へけりし

○氷川社 流谷川 天台 別當惠日山室水寺宗王院

○相沢 流谷 建久三年源朝の

○流谷川 流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

○流谷川

釈迦佛丈六の像を造りて具嚴の地に置りて之を法
波のよめる佛像の如くして海中に漂はせし時珂娘の如きハ
数列はありこれをすく取らざるを棄てしむるなり切なり
久しきにして佛像の如くして存する所也

延宝六年真沢の御氏、招きよらるる此僧の如く千時師
六十一歳にして世甚困寂く如くしてゐるなり此後季の如
く後九品の像を具嚴寺に置くなり一車堂の如きは
此寺より九品佛を以てせしむるなり

延宝八年甲申八月大風なりて千時堂倒壊し佛像ヲ毀る
所又之を修補す 元禄七年十月七日入寂ス

○大溪山真徳寺

禅宗

在赤坂世田谷

開山馬堂昌善禪師 中興同禪善住禪師 再興興文松秀道禪師
文明十二年庚子真徳院開基といふ言良正忠乃伽母なり則
此寺の基なり

